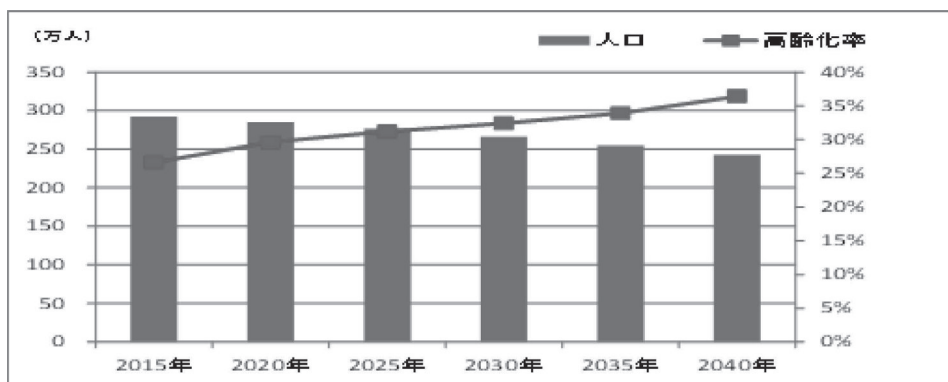


第3章 将来の保健医療の状況

第1節 人口動向

平成 25（2013）年 3 月推計の社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、本県の総人口は、令和 7（2025）年時点において 2,764,115 人、令和 22（2040）年時点で 2,422,744 人まで減少することが見込まれています。

本県の 65 歳以上の高齢化率は、令和 7（2025）年時点で 31.2%、令和 22（2040）年時点では 36.4%まで増加することが見込まれています。



出典：「日本の地域別将来推計人口（平成 25（2013）年 3 月推計）」国立社会保障・人口問題研究所より作成

第2節 医療需要の動向

医療機能別に入院医療及び在宅医療等の医療需要の将来推計について、平成 25（2013）年を基準としてみた場合、在宅医療等は令和 7（2025）年には 41.8 ポイント、令和 17（2035）年には 67.0 ポイントの上昇が見込まれます。また、急性期については、令和 7（2025）年には 19.0 ポイントの上昇、回復期については、令和 7（2025）年には 23.9 ポイントの上昇が見込まれます。

本県の医療需要の将来推計

単位：人/日	2013年	2025年	2030年	2035年	2040年
医療需要	38,097	49,807	55,010	56,741	55,557
高度急性期	1,495	1,634	1,652	1,637	1,600
急性期	4,880	5,807	6,090	6,134	6,009
回復期	5,168	6,405	6,811	6,902	6,759
慢性期	4,446	4,614	5,036	5,157	5,054
小計（入院医療）	15,989	18,460	19,589	19,829	19,421
在宅医療等	22,108	31,347	35,421	36,911	36,135

平成25（2013）年を基準にした場合の各年の医療需要の割合

単位：%	2013年	2025年	2030年	2035年	2040年
医療需要	100.0%	130.7%	144.4%	148.9%	145.8%
高度急性期	100.0%	109.3%	110.5%	109.5%	107.0%
急性期	100.0%	119.0%	124.8%	125.7%	123.1%
回復期	100.0%	123.9%	131.8%	133.5%	130.8%
慢性期	100.0%	103.8%	113.3%	116.0%	113.7%
小計（入院医療）	100.0%	115.5%	122.5%	124.0%	121.5%
在宅医療等	100.0%	141.8%	160.2%	167.0%	163.4%

地域医療構想策定支援ツールにより、平成25（2013）年、令和7（2025）年、令和12（2030）年、令和17（2035）年、令和22（2040）年における入院医療及び在宅医療等の医療需要（医療機関所在地ベース※）を推計しています。

※地域医療構想策定支援ツールによる推計される医療需要の種類

- ・患者住所地ベース：平成25（2013）年度の患者住所地における医療需要をベースに令和7（2025）年度の推計人口で算出した医療需要
- ・医療機関所在地ベース：平成25（2013）年度の医療施設における医療供給をベースに令和7（2025）年度の推計人口で算出した医療需要